

タイトル (活動概要)	107 前かな、後ろかな？ (読書アニメーション)	アプローチ (関連する力)		「仲間づくり」 ⑮ 「集団づくり」 ⑱	
タイミング (実施時期)	通 年	活動場所	教室	所要時間	15～25分
対象学年	幼・小低・小中・小高 中1・中2・中3・高	対象規模	学級・学年	活動場面	国語・朝読書
活動のねらい	<p><背景>読書離れが進み、読み聞かせや読書の世界を楽しめない子が増えている</p> <ul style="list-style-type: none"> できごとの順序やテンポをしっかりとつかもうと話（読み聞かせ）を注意してきくことによって、本の楽しさを味わう 友だちと一緒に考え、登場人物の出てきた順序などの問題を解く 				
準備	<ul style="list-style-type: none"> 絵本『たいへん たいへん』（低学年の場合の例。活動に合う他の絵本でも可。） 出版社；福音館書店作；イギリス昔話 絵；長 新太 訳；渡辺 茂男 登場人物カード（絵または文字、6枚一組）；グループ数分、掲示用カード 				
学 習・活 動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入				絵本『たいへん たいへん』	
お話を、「さいふ耳」と「心」できいて、グループで問題を解きましょう					
2 主活動		<ul style="list-style-type: none"> さいふ耳・・・落とさないようにしっかりと聞くこと 繰り返しに気がついた子どもを褒めて、読み手と一緒に声を出して読むよう促す 答えの掲示用カードを黒板に貼る ※めんどりは入っていないことに気がついたグループはさいふ耳で話を聞いたことをほめる。 		 <p>福音館書店作；イギリス昔話 絵；長新太、訳；渡辺茂男 登場人物カード (めんどり、おんどり、ぐわぐわがちょう、くわつくわっあひる、しちめんちょう、こんこんぎつね)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 絵本『たいへん たいへん』を聴く グループで登場人物カードを裏にして一人1枚ずつ配る グループで相談しながら問題を解く <p><問題></p> <ol style="list-style-type: none"> 前半出てきた登場人物の順番に並べる 後半きつね穴に入る登場人物の順に並べる めんどりは王様に知らされたか <ul style="list-style-type: none"> 問題ごとに答えを発表し、正しく並べたか確かめる 最後の問題「めんどりは王様に知らせることができたか？」の答えを出し合う 					
3 ふり返り					
<ul style="list-style-type: none"> おもしろかったところや、友だちと仲良く活動できたかをふり返る 					
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> 選ぶ本により、幼児から中学生まで可能。人数分の本が用意できれば、読み聞かせではなく、前もって各自で本を読んでから実施するようにしたい 速く並べたかを競うのではなく、話を注意して聞いていたかを評価する 				

参考：M・M・サルト＝著 宇野和美＝訳 カルメン・オンドサバル＋新田恵子＝監修、「読書へのアニメーション75の作戦」 柏書房 2001年